

新しい図書館を

みんな
でプロデュース
してみよう！

第3回 新中央図書館市民ワークショップを開催しました！

参加者のみなさま、ありがとうございました！！！！

「まちを好きになる図書館をプロデュース」というテーマで、新図書館で行いたい活動について各班からたくさんの提案をいただきました。

日時：2024年12月22日（日）
13時30分 - 16時30分

場所：ひたちなか市役所防災会議室

参加者：22名

- 当日の流れ -

1. グループワーク 1
2. 発表
3. グループワーク 2
4. 発表
5. 全体でのディスカッション

各班から、次のような意見が出されました。

A班 【農家の野菜紹介】

○班のメンバーに、大根農家の方がいることを活かした展示やイベントの開催。○図書館内に「大根コーナー」を設置し、大根の育て方やおいしい食べ方の紹介。○展示をきっかけに野菜の朝市が始まるように、公園に近い場所にコーナーを設置。○デザインが得意なメンバーがいることを活かし、ディスプレイ用の棚はカスタマイズ可能な仕様とすることで、様々な展示方法、アクティビティに対応。

B班 【お話の場】

○誰でもなんでも自由に発信できる場（スタジオセット、お話しの場）をつくる。○班のメンバーは平日仕事等で常時対応できないので、平日はおすすめ本を展示。○なりきりチューバーとして情報発信できる場、本のプレゼンにより読書推進を目指す。○映像が撮れる設備、図書館全体が映える背景や舞台を用意。○中高生が楽しめる場、一般の方でも気軽に使いやすい場とする。○音が出る企画なので、学習室と離れた位置、エントランスに近い位置で開催。

「まちを好きになる」図書館

プレイヤーとして
どう図書館で活躍できるか？



最後となる今回のワークショップでは、参加者自身がプレイヤーとして「どのような活動を行いたい・行えるか」を考えていただきました。まず、各チームで自己紹介や自分の得意分野の共有を行ったあと、各班のメンバーだからそこ実現できる「新しい図書館で行う活動」についてアイデアを整理・発表していただきました。また、ワークショップの最後に、施設機能に関する様々なご意見・ご要望もいただきました。



C班 【ひたちなかのイトコロ発信場】

○新しい市民（移住者）が来たくなる展示。○ひたちなかは工場などが多く、移住者が多いため、そういった方々に、市の魅力などを知ってもらうことができるような図書館を目指す。○ボタンを押せば欲しい情報が得られる展示ブースを常設。○市の魅力を映像化して発信。○いいとこ発信隊やおらが湊鉄道応援団、インフルエンサーによる紹介などを想定。○音が出る企画のため、カフェの近く、明るくて少し賑やかな場所にブースを設置。



E班 【何でもできる市民ブース】

○読み聞かせ、傾聴カフェなどができるブースをつくる。○市民ブース＝人と人をつなぐ場、(時間ごとに使い分ける)。○図書館御朱印スタンプラリーを実施。また、新しい図書館自体の紹介をするブースもつくる。○ワークショップなどで集めた市民の想いや建物コンセプトの説明、形では見えない環境配慮技術情報の発信。○ブースの設置場所は限定せずに目的に応じて場所を移設。

施設機能等に関する意見・要望

○ちょうど良い明るさ感、暗すぎない図書館が望ましい。(現中央図書館は暗い) ○安心して利用できるトイレが欲しい。(人がいない場所にあるとセキュリティが不安である。) ○親子トイレ、オムツ台などのあるベビー室には大人用トイレを併設してほしい。○多目的室が欲しい。○書架エリアの中にも閲覧室が欲しい。○適切な台数の駐車場が確保されているか気になる。○キッチンカーが停車できる場所があるのか。○プロジェクターが欲しい。○学習室にはタスクライトと充電タップが欲しい。○図書館のコンセプトや建築計画の議論もしたい。○環境の観点からガラス面は少なくすべき。○施設の外径が雁行しているため、外皮面積が大きくなるのが気になる。○屋内イベントをする場合、テントのようなイベントの視認性を上げる仕組みが欲しい。テントやブースは木製の柱で構成されていると雰囲気があってより良い。

ひたちなか市からの挨拶

今回のワークショップでは、多くの皆様にご参加を賜り、幅広く様々なご意見・ご提案をいただきました。いただいたご意見等を踏まえ、より魅力的な図書館となるよう設計を進めていきます。完成までに3年以上ありますが、それまでの間、ご参加いただいたみなさまとのつながりを大切に、保ち続けていきたいと考えております。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

D班 【知が集まる】

○図書館は公共性が高く、目的が無くても訪れる場所。○図書館はインターネットとは違い、正確な情報(知識)が得られる場所であるため、子どもが地域を調べて発表する活動と図書館の知(まちの歴史・昔の風景)を重ね合わせた場所づくり。○実際に当時の風景を知る人との交流(世代間交流)の機会の創出。○展示、本棚、まちの地図、ゆっくり座れるスペースを用意。○まちの地図を床に大きく設置。○入口や事務スペースから離れた人通りが少ない落ち着いた場所へのブースの設置。

